

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル1注意**とします。

【概要】

1 県内の感染状況

期 間	新規感染者数	うちリンクなし 感染者数
11月25日(木)～12月1日(水)	0名	0名

2 熊本県リスクレベルについて

前回（11月26日発表）	今回（12月3日発表）
レベル1注意 なお、感染状況は先週と 大きな変化は見られない。	レベル1注意 なお、感染状況は先週と 大きな変化は見られない。

3 県民の皆様へのお願い

国内の感染状況は非常に低いレベルで安定していますが、次の感染拡大が起こる可能性は高いと考えられていることから、備えを進める必要があります。

本県の今後の保健・医療提供体制について、11月28日に熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議による議論を経て決めました。これまで以上の感染者が発生した場合であっても、患者の症状に応じた医療を受けられる体制を整備しています。

ワクチン効果の経時減少や、新たな変異株の発生等、感染拡大が懸念される要素も増加していますが、基本的な感染防止対策の有効性に変化はないため、県民の皆様には、引き続き徹底をお願いします。

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和3年（2021年）12月3日】

1 熊本県における現状認識

本県の11月25日から12月1日までの新規感染者数は0人であることから、本県のリスクレベルはレベル1注意とする。

本県の今後の保健・医療提供体制について、11月28日に熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議による議論を経て定めた。これまで以上の感染者が発生した場合であっても、患者の症状に応じた医療を受けられる体制を整備したところ。

ワクチン効果の経時減少や、新たな変異株の発生等、感染拡大が懸念される要素が増加してきている。基本的な感染防止対策の有効性に変化はないため、県民の皆様には、引き続き徹底をお願いする。

前回（11/26発表）	今回（12/3発表）
<p>レベル1注意 なお、感染状況は先週と大きな変化は見られない。</p>	<p>レベル1注意 なお、感染状況は先週と大きな変化は見られない。</p>

[熊本県リスクレベル基準]

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒警報	県内で ①新規感染者 150 名以上 かつ ②病床利用率 25% 以上 等	<ul style="list-style-type: none"> 重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。 	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者 50 名以上 かつ ②リンク無し感染者 25 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。 	感染の更なる拡大と、クラスターの散発／連鎖
レベル3 警報	県内で ①新規感染者 30 名以上 又は ②リンク無し感染者 15 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。 	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発 	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な対策を啓発 	

※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

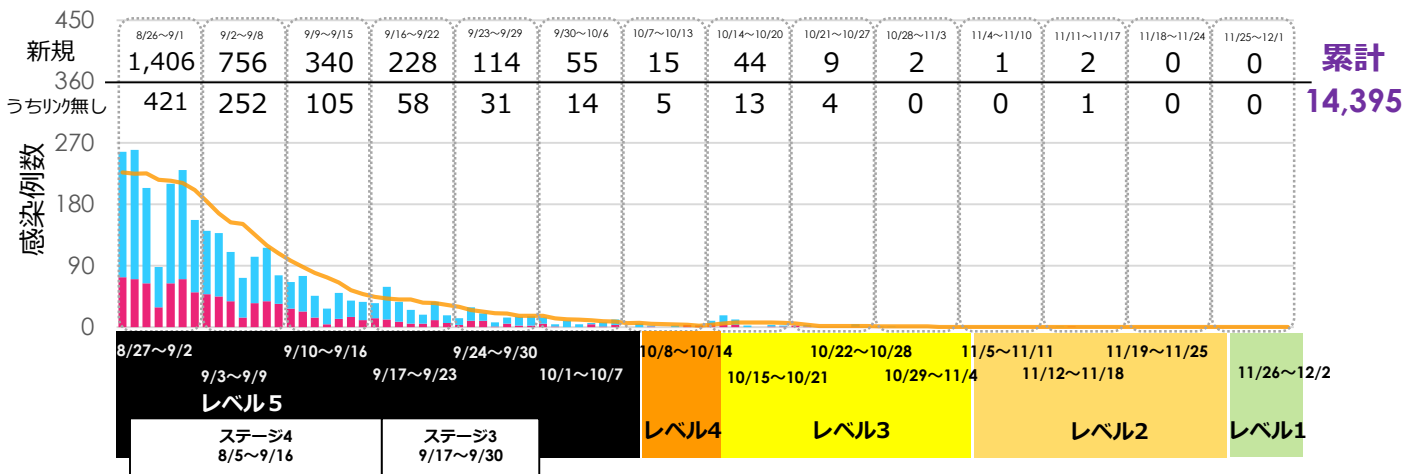
※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (12月2日現在)

- 熊本県の11月25日から12月1日までの新規感染者数は0人である。したがって、熊本県のリスクレベルはレベル1注意と判断することが妥当である。
- 国内の感染状況は安定しているが、南アフリカで確認された新たな変異株（オミクロン株）の世界的な流行が懸念される。当該株については不明な点も多いが、日本においても、国立感染症研究所がVOC（懸念すべき変異株）に位置付けるなど、警戒が高まっている。
- オミクロン株については、デルタ株の流行地においても増加が見られていることから、デルタ株以上の感染性を有していることが懸念される。また、変異が起きている部位が多いことから、抗原性が変化し、ワクチン効果の減少も起こる可能性が高い。病原性については不明だが、抗原性が変化した場合、中和抗体療法の効果にも影響が出るため、警戒が必要である。
- 現在、当該株は、国内では空港検疫で2例確認されている。政府は同一便の搭乗者を全員濃厚接触者としたほか、臨時的に外国人の新規入国を原則停止する判断を行った。現状においては、こうした検疫の強化に加え、各自治体においてはゲノム解析等による検査頻度を高める対策が望ましい。
- 第6波がどのように現れるかについて、ますます予見が難しい状況となった。しかし、感染者が少ないうちに3回目のワクチン接種を進めることの重要性は変わらないため、県・熊本市においては適切な体制整備をお願いする。また、11月28日に専門家会議において議論した保健・医療提供体制について、実際に稼働させることを念頭に備えを進めていただきたい。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（8/26～12/1）：確定日ベース】

■ 新規感染例数 ■ リンク不明感染例数 — 新規感染例数7日間平均



・リンク無し感染者数は、調査により変動することがあることに注意

【保健所ごとの感染例の確認状況】

保健所名	これまで	11/25～12/1		保健所名	これまで	11/25～12/1	
		陽性者数	人口10万人※あたり			陽性者数	人口10万人※あたり
熊本市保健所	8,248	0	0.0	宇城保健所	685	0	0.0
有明保健所	1,331	0	0.0	八代保健所	747	0	0.0
山鹿保健所	399	0	0.0	水俣保健所	219	0	0.0
菊池保健所	1,386	0	0.0	人吉保健所	221	0	0.0
阿蘇保健所	267	0	0.0	天草保健所	222	0	0.0
御船保健所	670	0	0.0	計	14,395	0	0.0

※ 各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用

【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の示す感染状況の指標】

	医療提供体制等の負荷				感染の状況			早期探知指標 新規陽性者数の前週今週比
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③検査陽性率 県内全検査 週移動平均	④新規陽性者数 週合計	⑤感染経路不明割合 直近一週間	
	入院医療		重症者用病床 確保病床使用率					
	確保病床使用率	入院率						
12月1日	0%	(0%)	0%	0人	0%	0人	0人(0%)	0
11月24日	0%	(0%)	0%	0人	0%	0人	0人(0%)	0
11月17日	0.2%	(50.0%)	1.8%	2人	0.08%	2人	1人(50.0%)	2.00
11月10日	0.3%	(50.0%)	1.8%	2人	0.03%	1人	0人(0%)	0.50
11月3日	0.5%	(50.0%)	1.8%	6人	0.1%	2人	0人(0%)	0.22
10月27日	1.7%	(61.1%)	3.6%	18人	0.3%	9人	4人(44.4%)	0.20
10月20日	3.0%	(42.2%)	1.8%	45人	1.0%	44人	13人(29.5%)	2.93

(参考) 旧ステージ分類の判断基準

ステージ	確保病床使用率	入院率※	重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	感染経路不明割合	新規陽性者数比 今週先週比が1.0を超える状況が継続する場合には注意が必要
ステージ4	50%以上	25%以下	50%以上	524人以上	10%以上	437人以上	50%以上	
ステージ3	20%以上	40%以下	20%以上	349人以上	5%以上	262人以上	50%以上	
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階							
ステージ1	医療提供体制に特段の支障がない段階							

※ 療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用